

---

[成果情報名] SSRマーカーを用いたキウイフルーツ新品種「甘うい」の品種識別技術  
[要約] 「甘うい」を識別できる3種のマーカー（UDK96-018、UDK96-019およびUDK97-406）を選定した。これらのSSRマーカーはそれぞれ単独で、「甘うい」を含む *Actinidia chinensis* に属する10品種の相互識別が可能である。

[キーワード] キウイフルーツ、「甘うい」、*Actinidia chinensis*、SSRマーカー、  
品種識別

[担当部署] 生産環境部；バイオテクノロジーチーム

[連絡先] 092-924-2970

[対象項目] 果樹

[専門項目] バイテク

[成果分類] 行政対応

---

[背景・ねらい]

本県で開発されたキウイフルーツ新品種「甘うい」(*Actinidia chinensis*) は、県のオリジナル品種として重要で、今後県内全域での導入、普及により果樹の生産振興に寄与することが期待されている。キウイフルーツの品種識別技術については、ハイワードを始め *Actinidia deliciosa* に属する緑色果肉の主な品種については報告されている（山本ら 2009）ものの、「甘うい」を含む黄色・赤色果肉の主要品種の識別に関する報告はない。

そこで、知的財産権保護とその円滑な活用を推進するため、「甘うい」の品種識別技術を確立する。

(要望機関名：八女普セ (H25))

[成果の内容・特徴]

1. 「甘うい」を識別できる3種のマーカー（UDK96-018、UDK96-019およびUDK97-406）を、既報の12種のSSRマーカーから選定した（表1および図1）。
2. 選定した3種のマーカーはそれぞれ単独で、「甘うい」を含む *Actinidia chinensis* に属する主要10品種の相互識別が可能である（表1および図1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 識別に用いる3種のマーカーの塩基配列は下記のとおり。また、識別作業にはDNAシーケンサーが必要である。所要時間はDNA抽出から多型確認まで約8時間である。

プライマー名	Forward配列(5'→3')	Reverse配列(5'→3')
UDK96-018	GTAAGCTGCATTTGGTCCTCG	GTTTCTTTTAGTTTTTCATCCTTGGTTCCA
UDK96-019	ATACACTTGAAGCGCCGC	GTTTCTTAAGCAGCCATGTGCGATACG
UDK97-406	TTGACTTTTGGAAATCAAAACA	GTTTCTTCTCATACCTTTTGTGGATGTGG

2. 識別は、キウイフルーツの葉、樹皮のほか、果実でも可能である。

[具体的データ]

表1 SSRマーカーによるキウイフルーツ (*Actinidia chinensis*) の品種別多型

品種名	倍数性	マーカー名		
		UDK96-018	UDK96-019	UDK97-406
甘うい	4n	cdik	bnpr	cegk
Hort16A(ゼスプリゴールド)	2n	fj	kn	de
ZESY002(サンゴールド)	4n	efk	jmnst	be
さぬきゴールド	4n	abei	fglu	bijl
ゴールデンキング	4n	cdgk	aenr	dgk
アップルキウイ	4n	ade	flst	cehij
紅心	2n	be	cnop	abd
小林39(レインボーレッド)	2n	gh	dno	ei
東京ゴールド	4n	efi	fhiq	beg
片浦イエロー	不明	adei	estu	bci
ヘイワード(参考)	6n	dfgi	efkl	aef

注) 英小文字は、識別用ピーク(図1参照)

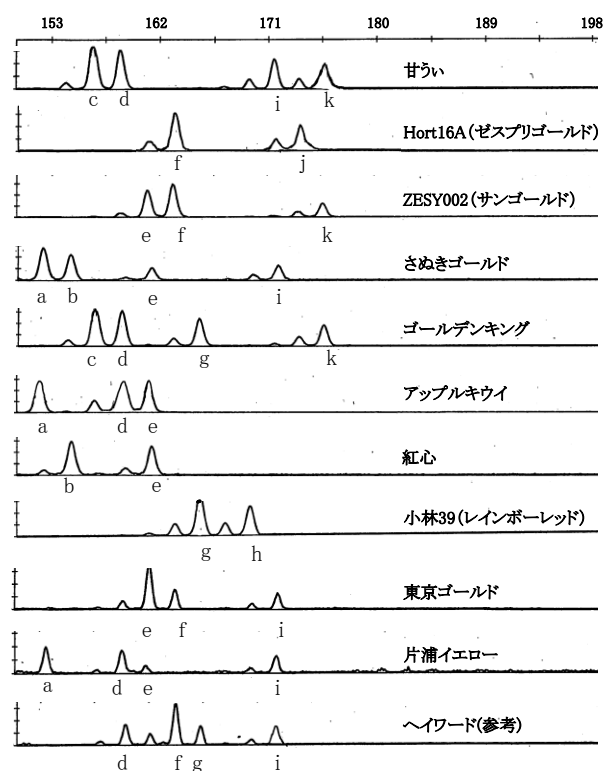


図1 SSRマーカーUDK96-018 による多型パターン

注) 英小文字は、識別用ピーク(表1に同じ)

[その他]

研究課題名: キウイフルーツ新品種「甘うい」の品種識別技術の確立

予算区分: 経常

研究期間: 平成28年度(平成27~28年)

研究担当者: 下村克己